

LPO

レッスン プラス ワン

Aug, 2005

77

ホームページ “LPO” CLUB

URL: <http://www.musenet.co.jp/lpo>

LPO編集室：〒174-0063 東京都板橋区前野町3-43-7 楽譜専門部 (株)松沢書店内 TEL：03-5970-5917



ミッフィーのびあの絵本別冊「ちやれんじぶつく」
ヤマハミュージックメディア刊 1470円

ヤマハミュージックメディア

ミッフィーのびあの絵本別冊「ちやれんじぶつく」活用で

惹きつけ、深める 導入期レッスンを

飯田 真樹

●年少幼児のレッスンの難しさ

年少幼児のレッスンを初めて体験した先生が異口同音に話される感想の一つに「レッスンで、間がもたない。」があります。例えば、4歳に満たない生徒ではレッスンの時間中、ピアノに座らせておくこともままならなかったり、逆に、4歳以上の場合でもよくできる生徒に表現やタッチにこだわって「深めよう」と思っているような音楽的要求をしたら、逆にやる気をなくしてしまいが続かなかつたり……。

幼児のレッスンには、生徒をレッスンに惹きつける難しさ、一つの曲を深める難しさがあり、そこをいかに上手に指導するかが大きなポイントです。

●惹きつけながら深めるレッスンの実観

発刊から約2年を迎えた「ミッフィーのびあの絵本」では、この間、数多くの講座や研究会で、子どもを惹きつける指導法、楽しみながら曲を深める方法等を紹介してきましたが、紹介させていただいた指導のアイデアをより多くの方が実践できるように、今回別冊「ちやれんじぶつく」として具体的にまとめました。CDあり、クラフトあり、カードあり、ユニークなシートあり、と盛りだくさんの内容ですが、そこには「惹きつける、深める」レッスンへの思いが託されています。その一例を紹介しましょう。

★リトミックからピアノ演奏への橋渡しを担うクラフト

びあの絵本1「とらんぼりん」という曲の導入では、音源に合わせて全身でジャンプしてとらんぼりんを擬似体験した後、ピアノ演奏につなげていくのですが、今回別冊「ちやれんじぶつく」で、ミッフィーやこいぬのクラフトと、とらんぼりんだけが描かれたシートを用意しました。これによって、ピアノ演奏そのまま

の動きで、楽しくシートの上でとらんぼりんをさせることができます。

★練習の量と質を両立させるクラフト

びあの絵本1「こうしん」では、あひる、ひよこ、かめの絵のついたクラフトを鍵盤に置いて曲を演奏します。すると鍵盤の動きに合わせてそれぞれの絵が動くので「楽しいから何度も弾く」だけでなく「あひる、ひよこ、かめの動きを表現できるように弾く」ようになり、練習の量と質を同時に獲得することができま

他にも幼児版トレーニングボードとも言える「みずあそび練習シート」や、おままごと感覚でリズム練習ができるカードなど、たくさんアイテムが勢ぞろい。「小さい子は苦手……」とレッスンをお断りしている先生方にぜひこのミッフィーのびあの絵本とリわけ「別冊ちやれんじぶつく」の内容を見ていただければと思います。先生と生徒がいっしょに夢中になっている楽しいようなレッスンの光景が目前に浮かんできた方なら、きっと素敵なレッスンをできますよ！

●プロフィール



東京芸術大学作曲科及び同大学院修了。在学中より作曲活動の傍ら、幼児の合唱・音楽指導、幼児・大人のピアノ指導を行う。1989年より(財)ヤマハ音楽振興会・音楽指導スタッフとして、ヤマハ音楽教室カリキュラム・教材・指導法開発に携わる。現在、(株)ヤマハミュージックメディアで教則本開発を担当。ミッフィーのびあの絵本開発者として全国で指導法講座を行っている。

特別座談会

「ミッフィーのびあの絵本」 スーパー活用法

「ミッフィーのびあの絵本①②③」が刊行されてから約2年。「絵本」の名にふさわしい、色鮮やかなカラーページに魅せられながらも、これまでの導入テキストとは一風変わったその内容に少し戸惑われた先生もいらしたのでは？。しかし、この2年の間に、ミッフィーシリーズは大きく進化を遂げていました。そこで今回は、シリーズのブレーンである開発者の飯田真樹先生と「ミッフィーのびあの絵本指導法研究会」の先生方にお話をうかがいました。

☆まずはそのユニークさにビックリ！ ”遊び”から学ぶテキスト

——ではまず、「ミッフィーのびあの絵本」シリーズへの率直な感想からお聞かせ下さい。
佐々木 最初はまず驚きましたよね。何だこのテキストは!? って(笑)。ピアノテキストとしてすごくサイクルが早くて、いくらでも新しい教材が出てきますけど、その中でもこのテキストのユニークさにはびっくりさせられました。と同時に、どうやって教えられるかな？ と興味を惹かれました。

西村 私も佐々木先生と同じで、最初にこのテキストを手にした時は、それまでの導入教材とはあまりに違うことに驚きました。でも、少しずつ掘り下げていくと、ほかの教材にはない奥深さとかおもしろさが見えてきて、研究しがいのあるテキストだな、とも思いました。一番おもしろかったのは音源(ミュージックデータは「Mum」にて購入可能)ですね。途中から音源がついたことよって、よりレッスンを発展させやすくなったと思います。

藤山 私はまず、小さい子のイラストへの飛びつきにびっくりしました。他のテキストを見る目とは輝きが全然違いましたね。また、それぞれの曲が1〜2小節という短さにも驚

きました。小さい子が集中してレッスンを受けるには、それくらいがちょうどよい長さのようです。また、ミッフィーは男の子も好きみたいで、とても楽しく取り組んでくれますね。あと「使い方がどうしたらいいかわからない」という意見もあるんですけど、私は逆に自分で使い方をいろいろ考えていけるおもしろさがあるテキストだなと思いました。

中川 私は10年くらい前に4歳のダウン症の生徒さんをレッスンしていたことがあったのですが、当時はこういった教材はなかったのですが、自分でカードや1〜2小節の短い曲を作ったり、エレクトーンで音源を作ってリトミック的なことをしていたんです。だから、そういったことが全部集約されているこのシリーズが出て、本当にうれしく思っています。川崎 ミッフィーのシリーズは遊びの中から音楽の大切な要素を学べるテキストだと思えます。生徒が心から楽しんでくれるのが分かります。その様子を見ていると私も楽しくなってきましたね。それから、私の教室にはお母様も一緒に参加して下さる方が多いのですが、実はお母様にも楽しんでいただけるテキストだということも感じています。クラフトやCD、イラストを使って「レッスンではこういう風



(写真左より中川先生、川崎先生、藤山先生、西村先生、佐々木先生)

●藤山紀子(かげやま・のりこ)

武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業。ヤマハ音楽教室システム講師を経て、ハマヤ楽器所属・ヤマハピアノ教室講師となる。ミッフィーのびあの絵本による導入期指導講座を各地で行う他、PSTAスタッフとして講座を担当する等幅広く活躍。幼児の興味を引き出す指導では多くの保護者・生徒の支持を得ている。

●川崎みゆき(かわさき・みゆき)

国立音楽大学ピアノ専攻卒業。ヤマハ音楽教室システム講師を経て、現在ヤマハミュージック横浜・ヤマハピアノ教室講師。'99年、'01〜'03年ピティナ指導者賞受賞。'01年トヨタ賞受賞。'02年よりピティナヤングコンベンション審査員、ステップアドバイザーを務める。'04年よりミッフィーのびあの絵本による導入期講座を担当。

●佐々木朋枝(ささき・ともえ)

武蔵野音楽大学ピアノ専攻卒業。導入期を中心とした子どものレッスンから実年、障害者教育等幅広く活躍。ミッフィーのびあの絵本開発当初からのメンバーとして、研究会・講座等で活躍。PTNAE/ASTEP城南ステーション代表、日本障害者ピアノ指導者研究会理事。

●中川ゆかり(なかがわ・ゆかり)

新潟青陵女子短期大学幼児教育学科卒業。音楽事務所に所属し、演奏活動を行う傍ら、JET西日本池袋支部会員として自宅でピアノ・エレクトーン教室を開校。3児の母の子育て経験を生かし、幼児が楽しめる教室づくりを目指す。ミッフィーのびあの絵本を活用したリトミック講座を練馬区児童館で行い好評を博す。

●西村真由美(にしむら・まゆみ)

成蹊大学卒業後、スター楽器・ヤマハピアノ教室講師として子どもから大人まで幅広い生徒の指導に携わる。ミッフィーのびあの絵本開発当初からのメンバーとして、研究会・講座等で活躍。子育て経験を生かした、年少生徒の指導実践を通じて、さまざまな指導法の提案を行ってきた。

にしたよね」といった会話をしながら一緒に家庭学習をして下さっているようで、「毎回のレッスンがすごく楽しんでいます」と言っているお母様もいらっしゃいます。

☆全3巻の中から必要な課題を 組み合わせるレッスン

——やはり今、ピアノ教室においても低年齢化というのは進んでいるのでしょうか？

佐々木 そう思います。そんな中で、最近すごく思うのは、今の幼児のレッスンでは「大きくなるまで待つ」のではなく、「できることからやっていく」レッスンが求められているということ。その点、このミッフィーのシリーズは、全3巻のテキストの中から、今のその子にできること、必要なことを選んでレッスンできるのが大きな魅力だと思います。

西村 ひとつの課題を取ってみても「リトミック的なもの」「テクニク的なもの」「聴音的なもの」というふうに、いろいろ使い分けができるんですよ。だから、普通のテキ

ストの併用にも使えるし、組み合わせ次第はこのテキストだけで一つのレッスンにすることもできる。そういったところが、これまでのテキストとは大きく違うところですね。

中川 幼児という年齢への配慮が数多くされているのも魅力だと思います。また色や形や数字をまだ覚えていない小さな子にも、イラストを利用して「ミッフィーちゃんは何人いるかな」という質問で数字を教えたり、「この形は何かな」「この色は何色かな」というように、ピアノを弾く前の段階で使うこともできる。そういったことから始めて、子どもたちが次第にピアノに興味を持って、音楽に興味を持って……と、ずつと使いつづけていける良さがありますね。

飯田 中川先生のお嬢さんは『おはなをそだてる』がすごく好きですよ。いつも「キャハ」と楽しそうに笑ってくれる。

佐々木 そうそう。一年を越えようと、本人たちにもお気に入りができるんですよ。

川崎 1歳半の生徒が「ちゃれんじぶっく」の「どのおとどのおと？」のお歌が大好きで、

歌い終わるとまた伴奏くんのブレイボタンを押しちやうのは驚きました。もうすぐ3歳になりますが、今でも一番のお気に入りのようです。

蔭山 これはお気に入りというわけではないんですが、この本を使い終わった生徒に、レッスンで私がちよつと叱ったことがあったんですね。そうしたら、その子が自分の気持ちを言葉で言わないで、『かなしいドレミ』を弾いてその気持ちを伝えてきたことがあったんです(笑)。そういうふうな表現もあるのだな、と。

☆教育的獲得につながる遊びを厳選

「ちやれんじぶつく」や「わくわくレッスンガイド」(夏月下旬に改訂版が刊行予定)には先生方のアイデアもずいぶん盛り込まれているそです。前回研究会にお邪魔させていただいた時には、川崎先生がお考えになったアイデアを検討されましたが、その豊富なアイデアには感心いたしました!

川崎 ありがとうございます。でもあの時のアイデアは私だけのものではなくて、生徒からヒントをもらったり、先生方からいただいたアドバイスで生まれたものがほとんどなんです。このように全国の指導者の先生方が持っているアイデアが形になるテキストが素敵だと思えますし、傍に開発者の飯田先生がいて下さって、制作側の意見を常に伺えるのがこのシリーズの魅力だと思います。進化するテキスト! これはほんとに大きな財産だと思いますね。

飯田 使う人の余地をどのくらい残すか、というのは難しいところで、それは使いやすいとおもしろさのバランスなんです。開発当初は、あまり具体的に書いていないからこそ、現場でアイデアを出し合ってもらった

とを期待していましたが、さすがにまだ現実のレッスンの中では、もう少し具体的に示していないと、というのがあったんですね。その溝を埋めたのが「ちやれんじぶつく」であり、「わくわくレッスンガイド」なんです。

また、シリーズの中ではふんだんに遊びの要素を盛り込んでありますが、遊びにも「遊びで終わる遊び」と「音楽教育的な獲得につながる遊び」があり、研究会では「音楽教育的な獲得につながる遊び」を厳選すべく、検討を重ねています。この遊びはどのような意味があるのか? 演奏にどうつながるのか? と、佐々木 カワイいな、たのしいな、で終わるんだつたら何もピアノ教材じゃなくてもいいわけで、演奏につながってくれるというのはすごく大切なことですよ。

飯田 そう、あくまでピアノの演奏につなげるという最終目標を外してはいけない。とはいえ、その子の自己表現の世界も大切にしながら、反復練習を10回する場合は、その決められた10回という数字をただこなすのか、「おもしろい!」と夢中になつて気が済むまで弾いて、それが結果として10回なのかでは大きく違つてきますから。

—— これからこのシリーズをレッスンに取り入れる方へのアドバイスをお願いします。蔭山 まず最初に、保護者の方へのテキストの説明が必要だと思います。私が最初このシリーズを使った時、生徒は喜びましたが、保護者の方からはもつと普通のテキストを使つてもらいたい、という雰囲気を感じたんですね。そこで、テキストの説明や指導方針をきちんと説明して、自分でも手法をいろいろ考えながらレッスンを進めました。そうするうちに保護者の方も理解して下さいましたが、単なる「遊びの本」と勘違いされなないために、説明は必要ですね。

西村 私はレッスンにお母様も入っていたにいています。そうすることで非常にコミュニケーションが取りやすくなりますね。それから、「ちやれんじぶつく」はぜひ活用していただきたいですね。私自身「ちやれんじぶつく」ができたおかげで、お母様がクラフトを作るのに協力して下さったり、クラフトを鍵盤にはめて遊ぶ「シーソー」や、倍音の響きを楽しむ「ちやいむ」といった遊びを通じて、生のピアノの大事さをすくく伝えられるようになりまし。お母様方がピアノに興味を持って下さるようになったのもうれいですね。中川 CDもどどん活用してほしいですね。「ちやれんじぶつく」の歌は歌詞も短く覚えやすいので、絵かき歌や手あそび歌としてお母様も一緒に楽しんでいただけます。この前レッスンに2歳の妹さんを連れてきた生徒がいたんですが、レッスンを終わってノートに宿題を書くほんの2・3分の間、CDで『とおんきこうとおんきこう』の歌を流していたら、2回聴いただけで歌詞を覚えて歌ったんです。それにはもうびつくりしました。また、ピアノが弾ける生徒には、CD音源とのアンサンブル奏で、さらに演奏に向けての好奇心や表現力を伸ばすこともできます。このシリーズで、これまで以上にピアノレッスンが長続きする子どもたちが増えることを期待しています。

川崎 シリーズの中で私が一番好きなのは『みずあそび』で、これには突起を指先で手前にはじくクラフトがついているんですが、装飾音のトレーニングにすくくいいんですね。トリルがとても苦手な生徒が、このクラフトを一回さわっただけでマスターしたこともありました。このように、このシリーズには、ある程度教材が進んでも、何かあったときに立ち戻って解決できる内容が多く含まれているので、指導者の方にはいろいろな使い方を

工夫していただければと思います。それから今の保護者の方は、ただ単にマルをもらうことを望んでいるのではなく、その子の一番素晴らしいところを先生に理解してもらえないことに満足感を覚えるのではないかと思つています。ですから「ピアノが弾ける」ことだけを評価するのではなく、「歌やアンサンブルに必要なテクニックが身についた」「音楽を豊かに表現できるようになった」といったことも、先生が大きく評価してあげることが大切なのではないでしょうか。

佐々木 すでに皆さんおっしゃつていますが、まずはインフォームドコンセントをしつかりすること。テキストというのは、先生が失敗したなと思つてもそう簡単には乗り換えられないので、最初にきちんと説明をすることはとても大事だと思います。一方で、このシリーズの「遊び」の部分はずくく大切なところなので、指導者がしげられない気持ちでいることも大事だと思います。たくさん指導書もあつて、やることもたくさんあるけれど、その先生のカラーというのは大事にしてほしい。私自身について言えば、このシリーズでのレッスンは、今ほとんどすくく充実してます。うん、テキストもそうだし、教えることにしてもだんだん充実してきています。そういう意味では、開発に携わつたから薦めているんじゃないの、とは言わせない自信があります。まずは自分が楽しんでレッスンをすること、幼児は大人になる途中だけ大人とは違う生きもの、ということを理解すれば、すくく幅の広がるレッスンになるんじゃないかな、と思います。(取材・文・P.O.編集室)

今後、このシリーズの公開講座および指導法研究会が全国にて開催される予定です! 予定が分かり次第、HP「LPOCLUB」でもお知らせしますので、お近くで開催の際には、ぜひお出かけ下さいね!

8月の新刊&おすすめ本

おすすめの音楽書

recommend!!



●21世紀へのチェルニー 訓練と楽しさと――

なぜ、チェルニーをやらなければいけないのか。
もし、やらなかったら、どうなるのだろうか。

本書はそんな疑問を足がかりに、国内外のピアニストやピアノ教師、愛好家にインタビューを試み、その歴史と現状を精力的に取材した一冊。果たしてチェルニーはどこまで必要なのか。その結果は……!

(山本美芽 著/シヨパン 1155円 8月上旬発売!!)

●DVDブック 至福のピアノ 弾く・聴く・楽しむ
ピアニスト・仲道郁代さんが「トロイメライ」「月の光」「愛の夢」などの名曲演奏を交えながら、弾く時のアドバイス、聴く時のポイント、作曲家別・弾き方の違いなどを解説されています。DVD73分。
(仲道郁代 著・演奏/講談社 2940円 発売中)

●作曲家◎人と作品 武満 徹
日本を代表する作曲家でありながら、知られざる部分の多い武満徹の生涯と作品をコンパクトに解説した一冊。
(崎崎洋子 著/吾友 1260円 8/下)

* 教本・曲集 *

●かんたんクラシックシリーズ【模範演奏CD付】

*モーツァルト *ベートーヴェン *シヨパン

ピアノ曲から管弦楽曲まで、それぞれの作曲家の名作をやさしいアレンジでお届け! 模範演奏CDもついています。

(シンコー 各1680円 8/下)

●園田高弘 校訂版 J.S. バッハ

平均律クラヴィーア曲集 第1巻(2) CDつき

この巻では、プレリュードとフーガの第13曲から第24曲(BWV858-869)までを収録。ピアノでバッハ作品を演奏するための格好のシリーズです。CDも必聴!
(園田高弘 校訂/春秋社 2100円 8/下)

●エトワール エフルール 連弾バッハ

原曲に近い味わいを楽しめる好評連弾シリーズ。曲目は「トッカータとフーガ」ほか。
(西原睦子・花野幸子 編著/共同 1575円 8/下)

●リー・エヴァンス ピアノ教本

初級ジャズ
即興技法

ジャズをクラシック同様、「練習曲」によって学べることを証明した、アメリカで評価を得ているテキスト。ジャズの演奏に欠かせない技法を取り上げ、基本から応用を効率よく習得。
(オウト 2100円 8/下)

●リー・エヴァンス ジャズ・ピアノ

96のエチュード【新版】

応用自在の
ジャズ・ピアノ集

本書の96のジャズ課題は、ジャズ・ピアノを弾く時に必要な音階、和音、リズムの要素を織り込んだ24の長/短調をカバーするスレーズ。「リー・エヴァンス:ピアノ教本」との併用をせよ。
(オウト 1890円 8/下)

●全音ピアノライブラリー カプーステン ピアノ作品集①②

作曲家自身による監修・選曲

待望の新譜。①巻には《変奏曲》《トッカティーナ》などスタンダード曲を、②巻には世界初出版となる《ユモレスク》やファン待望の《ブラジルの水彩画》による《パラフレーズ》ほか最新作を収録。また、楽譜に完全対応した川上昌裕先生演奏によるCD(全音版、各2940円)が同時発売予定。(川上昌裕 解説・編/全音 ①-2520円、②-2415円 8/下)

●ピアノソロ&ピアノ弾き語り 樹原涼子

“The Four Seasons”ベスト・セレクション

「ピアノランド」でおなじみの樹原涼子先生が昨年リリースされた4枚のアルバムから、人気の12曲をセレクトして楽譜に。曲およびアレンジの美しさはもちろんですが、各曲ごとにコード解説ページも設けられているので、幅広い使い方が期待できます。CDつき。
(樹原涼子 著/リットー 2625円 8/下)

●伴奏付 やさしいソルフェージュ入門①②(仮)

好評既刊「伴奏付ソルフェージュ」の導入編。全曲に前奏をつけ、やさしい曲を多く収録し、より使いやすく。
(白川雅樹 著/オンキョウ 各1575円 8/下)

●新みんなのピアノれんだん ①クラシック名曲集3

◎世界的名曲集 ◎スタジオジブリ作品集

初級後半～中級レベルによる連弾シリーズ。両パートはほぼ同じに設定されています。巻末には曲全体が把握できるミニチュアスコア付き。
(ヤマハ 1365円～1575円 8/下)

* ヒット曲& TVテーマ曲 *

●ビョウ 映画音楽の巨匠 ジョン・ウィリアムズの世界

「スター・ウォーズのテーマ」をはじめ、歴代の名曲が一冊に。中級以上のアレンジです。
(ドレミ 1470円 8/上)

●ピアノソロ デイ・エ・スキパン

ボリス・グウェン～白い港 ピアノ3部作②

フランス・ブルターニュの才人が奏でる美しく透明感あふれるナンバーを、本人監修で楽譜化。涼やかでロマンティックなメロデーは、夏のレッスンにぴったり。

(ドレミ 1890円 8/中)

●ピアノ発表会 厳選スタジオジブリ作品集

ソロ&弾き語り

スタジオジブリの名曲を、演奏会でも弾ける上級者向けにアレンジ。講師演奏などにぜひ!
(シンコー 1785円 8/中)

●ピアノれんだん ふたりでジブリアニメ

「ハウルの動く城」「風の谷のナウシカ」など、ジブリ作品を連弾で!
(kmp 1680円 8/中)

●ピアノ連弾 ウエディング!!

「結婚行進曲」などの定番曲はもちろん、新定番となった「ハナミズキ」「Jupiter」など、バラエティにとんだ曲集です。中級向き。
(ヤマハ 1680円 8/上)

※発売前の商品に関しては予定価格となっておりますので、発売後の価格が若干異なる場合がございます。また、品切の場合は何卒ご容赦下さいませ。

※価格はすべて税込金額での表示となっております。